

資料 1 - 参考

次期一般廃棄物処理施設候補地に係る評価項目一覧表（第3段階まで）

評価段階	評価項目	評価の概要
第1段階 (大まかな絞り込み)	①既存施設の利活用方針との適合	基本構想で示す、既存施設に係る将来的な対応策に照らし、候補地の適正を判断。
	②重複検討の回避	近傍に位置する候補地等について、評価作業効率の向上を図るため、一旦代表候補地1か所に絞り込む。
第2段階 (法的制限への適合)	①都市計画法上の用途指定区域	用途指定の状況から、候補地の適正を判断。
	②史跡・名勝・天然記念物の有無	指定文化財の内、史跡・名勝・天然記念物について把握し、それらとの位置関係から候補地の適正を判断。
	③埋蔵文化財の有無	周知の遺跡・古墳・城跡等と位置関係を確認することで、候補地の適正性を判断。
	④国有林	国有林への新施設整備は避けることとし、国有林との位置関係から候補地の適正を判断。
	⑤国定自然公園	国定自然公園への新施設整備は避けることとし、国定自然公園との位置関係から候補地の適正を判断。
	⑥鳥獣保護区	鳥獣保護区への新施設整備は避けることとし、鳥獣保護区との位置関係から候補地の適正を判断。
	⑦自然環境保全地域	自然環境保全地域への新施設整備は避けることとし、自然環境保全地域との位置関係から候補地の適正を判断。
	⑧土壤汚染に係る地歴	土壤汚染に係る地歴の有無から候補地の適正を判断。
第3段階 (施設要件への適合)	①有効敷地面積の確保	将来も踏まえた施設の一体的整備に係る土地開発の可能性から候補地の適正を判断。
	②防災指定の状況	防災指定区域内への新設整備は避けることとし、指定状況から候補地の適正を判断。
	③学校等の施設までの距離	静穏が求められる学校等の施設との距離（100m以内でないこと）から候補地の適正を判断。
	④水道接続の可能性	水道接続が可能か否かにより候補地の適正を判断。
	⑤下水道接続の可能性	下水道接続が可能か否かにより候補地の適正を判断。